



ゲルパックは1回1トンの水に対して5000～8000パック必要になる。質量を同じにすることで投下エリアを予測し、コントロールしやすくなった。

RescuePhotoNews

09

水を注げば5分で完成!

ゲル状消火剤が 森林火災を 強力アタック!

写真◎鳥取大学、株式会社イルカカレッジ

鳥取大学と株式会社イルカカレッジは、鳥取県東部広域行政組合消防局の協力により森林火災等に活用する画期的な航空消火システムを開発した。森林火災では航空機による上空からの散水消火を行うが、水は霧散しやすく風が強いと目標を定めにくい。同システムでは水をゲル化して霧散を防止し、バック化して細分化することで着地時の衝撃を緩和した。給水から5分でゲルパック化するので、火災現場へ向かう途中に生成することができ、投下のタイミングを知らせる管制システムと組み合わせることで、即座に正確にゲルパックの投下が可能。消火活動の強力な助っ人となるだけでなく、動物が食べても安全、と地球に優しいのもポイント。



投下装置はバンビバケットをゲルパック投下用に改造した。同システムは平成25年・26年度消防防災科学技術研究推進制度に採択されている。